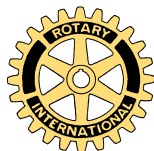


## THE ROTARY CLUB OF KARIYA



Weekly



創立 1954年 3月 8日  
承認 1954年 3月 30日

例会日時 毎週月曜日  
12:30 ~ 13:30  
例会場 刈谷市新栄町 3 の 26  
刈谷商工会議所内  
事務所 TEL <0566>22-2111  
FAX <0566>25-2111  
メール kariyarc@katch.ne.jp  
ホームページ http://www.kariya-rotary.com  
会長 嶋 津 孝 久  
幹事 野 村 紀 代 彦  
会報委員長 横 山 宜 幸

2012 ~ 2013年度 国際ロータリー 田中作次 会長テーマ

Peace Through Service 奉仕を通じて 平和を

この会報は、地球環境保全に考慮し再生紙を使用しています。

## 第2795回例会プログラム

[当年度=29回目；当月=2週目]

2013年（平成25年）3月11日（月）

1. 例会……………〈司会：プログラム委員会〉
- 12:28 1. チャイム
- 12:30 2. 点 鐘……〈会 長〉
3. 開会宣言
4. ロータリーソング斉唱……我等の生業
5. 講師・ゲスト並びにビジター紹介
6. 食 事
- 12:45 7. 会長挨拶並びに会長報告
8. 退会会員挨拶……岡 <sup>おか</sup> 邦彦 <sup>くにひこ</sup> 会員
9. 米山奨学生挨拶……トウリン・ティン・ダット 君
10. 幹事報告
11. 出席報告
12. 委員会報告
13. ニコニコボックス報告
14. 次週並びに次々週のプログラムの予告  
(3/18) ……
- 卓話
- 講師 地区識字率向上委員会  
委員長 鈴木 吉男 様 (津島 RC)  
(紹介者 廣根 実 会員)
- (3/25) ……
- 新入会員アワー 松井 秀仁 会員  
〃 磯部 一智 会員
- 13:00 15. 本日のプログラム
- 卓話 「商事・民事・一般」
- 講師 井上剛法律事務所  
弁護士 井上 剛 様  
(紹介者 兵藤 文男 会員)
16. 謝 辞
17. 点 鐘……〈会 長〉
18. 閉会宣言
- 13:30 19. 散 会

## ゲ ス ト

米山奨学生 トウリン・ティン・ダット 君

## 出 席

会員総数 94名 出席免除 28名  
出席義務者+免除者の内例会出席者 88名  
欠席 7名 出席率 92.00%  
前々回 (2/25) の修正出席率 100%

## 幹 事 報 告

- 1) 本日、ホワイトデーが近いので、ひかりの家、パンドラの方々によってクッキー等を買らせて頂きました。
- 2) 名古屋大須 RC より東日本大震災チャリティコンサートのご案内がきています。なお、当日は大須 RC の例会でメイキャップ扱いとなります。
- 3) 鈴木文三郎会員が、ブラジルサンパウロ 4430地区のリバーデイド (LIBERDADE) ロータリークラブにメイキャップされ、パナーをお持ち頂きました。日系の方が多く、鳥居がデザインされています。

## 会 長 あ い さ つ

## 大須の話

嶋津 孝久



今日3月11日は東日本大震災から2年目の日です。各地で様々な追悼行事が予定されているようです。私も犠牲になられた方々へ、心より哀悼の意を表したいと思います。

本日も行って来ましたシリーズで、大須の話です。我が家も子供が小さいころは、大須へよく行っていました。観音様へお参りをし、ハトに餌をやって、色々食べるのを楽しみに出かけたものです。先週、10年ぶり位で女房と2人で出かけたのですが、その

変わりように大変驚きました。今の大須を一言で言うと、カオス（混沌）です。何でもありの世界になっていました。国籍・年代・生活環境を問わない街です。中が濃すぎて、多分今日だけでは話さきれないと思います。

まずファッションですが、もともと大須は衣料品店が多い街でした。ただ、その頃の店は普通の婦人服の店であり、メンズショップ（懐かしい言葉です）だった訳です。それが今では非常に細かく専門店化しています。例えば、水商売の女性が店で着る服専門店であるとか、田舎のお年寄りしか着ないような服だけの店、肌着だけの店。また、アメカジ（注1）の店も数件ありました。創業明治4年という、「舞台用化粧品・小物」の専門店もありました。ベビー服の専門店、コスプレ（注2）ショップ等々何でもありです。また、古着の店も沢山あり、ここでもヨーロッパからとか、アメリカからの輸入とか専門店化しております。ファッション関係で無いのは高級ブランド店・高級ブティックだけです。

コスプレの話が出ましたので、大須のカフェ事情をお話します。

やはりキーワードは「何でもあり」です。まず「猫カフェ」ですが、カウンターか飲食スペースがあり、フロアには猫が放し飼いになっており、自由に猫と遊べるのが、猫好きにはたまらないのだそうです。似た名前の店で「猫ミミカフェ」と言うのもありましたが、これはウエイトレス（最近ではメイドさんというそうです）が猫ミミを付けている店で、コスプレカフェの分類だそうです。コスプレカフェと言えば東京秋葉原のメイド喫茶が有名です。これが実は、メイド服を着て「ご主人様お帰りなさい。」って迎えるスタイルは、ここ大須が発祥だそうです。

また、似た店で「妹カフェ」と言うのもありました。これは、設定が妹なので、特別な服装ではなく普段着です。で、「お帰りお兄ちゃん」と言うのが来店の挨拶です。そして、メイド喫茶はメイドと話ができる、注文のポイントによってツーショット写真が撮れる、クリスマスやバレンタインのイベントを楽しむのが売りです。妹カフェは若い女の子が料理を作ってくれるのが売りです。メニューは「妹が作るスペシャルフード」とか「お絵かきオムライス」とか、あまり美味しいとは思えませんが、この辺は価値観の相違という事です。

このカフェもサブカル（注3）と言われるものですが、その他にもサブカルの聖地のような店も色々あります。サブカルの店と、一番話したかった「食」については、次回以降に致します。

注1 アメカジ＝アメリカンカジュアルの略で、元はアメリカの大学生のファッションを指す。最近ではアメリカ映画の登場人物のファッションを言う場合が多い。

注2 コスプレ＝コスチュームプレイの略で和製英語

(2)

だったが、現在では世界共通語となっている。初期はアニメやゲームの登場人物に扮する事を指していたが、最近では特定の職業の制服を着るのもコスプレと言う。

注3 サブカル＝社会の支配的な文化(メインカルチャー)に対する、マイノリティの文化事象を指す言葉。日本では、特撮・アニメ・アイドル・ゲームと言ったオタク的趣味を言う場合が多い。

### 米山奨学生修了あいさつ



米山奨学生 トゥリン・ティン・ダット 君

### 退会会員あいさつ



岡 邦彦 会員

### 卓 話

#### 「商事・民事・一般」

井上剛法律事務所

弁護士 井上 剛 様

(初めに)



本日は東日本大震災から2年となる日です。仙台の弁護士（愛知県出身）の方に西三河のイベントに来て頂き、震災についてお話し頂きました。それに感化され、昨年家族旅行で東北に行きました。被災者の立場に立って親身に相談に乗るためにも、現地に行って良かったと思います。

### (弁護士の業務について)

よく「ご専門は何ですか？」と聞かれます。弁護士として専門は基本的にはありません。強いて言えば「多く携わっている」というものはありますが、西三河の弁護士にはあらゆるものが出来る、ゼネラリストであることが求められています。

知的所有権や特許の分野では専門化が進んでいます。これらの大きい紛争になると東京、大阪の弁護士が対応することが多くなっています。他に専門化が進んでいる分野として、医療過誤・行政訴訟・企業間の M & A・税金等があります。

まれに、専門外の税金の事を聞かれることがあります。一般的な事はお応えしますが、専門的なことは、税理士・司法書士とネットワークを結んで対応しています。

主な業務として、交通事故に関する示談交渉、裁判をやっています。特に高度障害が残る場合など、相手方が感情的になってくることも多いです。

その他としては、不動産取引、借地借家、建築、医療、消費者、境界、騒音、労働問題などです。

経験した中で最も印象的だったのは伊勢の土地売買に関する案件です。建設業を営む名古屋の方が、伊勢に土地を持っており、それを売って仕事の資金にあてようとした。買主は歯科医師の方で、将来の開業を見込んだものでした。その後8年が経過し建物を建てようとしたところ、都市計画区域で「建てられない土地」であることが分かりました。

そこで買主は契約の無効を訴えました。しかし、建設業を営む売主は資金として売買代金を使ってしまい、いまだに払うお金もなかったようです。本来仲介した不動産会社が、きちんと説明をしなくてはいけなかった事例です。

私は売主側からの依頼だったのですが、負けてしまうのではと思い、眠れない日が続きました。何とかしようと、エネルギーを持って伊勢の町中を歩きまわりました。すると、その熱意が通じたのか、最終的には取引時の不動産業者が間に入り、示談が成立しました。

その他にも、反社会的勢力との案件や、土地建物の明け渡してもらった必要があった案件、建築紛争の案件、相続に関連した詐欺事件などが記憶に残っています。

### (西三河の弁護士の実態について)

法科大学院によって、弁護士が大量増員されました。西三河では、40人(H13年ごろ)から110人。愛知全体では、800人(H13年ごろ)から1600人程度になっています。

今まで新人の弁護士は、名古屋の事務所で経験を積み、その後に西三河で独立というのが、流れでした。しかし現在では、いきなり西三河で修業をする人も多くなっています。ただし、この地域になじみがない人が多くなっているようです。